

文の五つのパターン

五 形 式 素	主 語 Sujet	動 詞 Verbe	主語の属詞 Attribut du sujet	直接目的 補語 Complément d'objet direct	間接目的 補語 Complément d'objet indirect	直接目的 補語の属詞 Attribut du complé- ment d'ob- jet direct
(I) 第一形式 S+V	Les oiseaux Le soleil Le prin- temps	volent. brille. est venu.				
(II) 第二形式 S+V+A	Je Elle Il	suis semble devient	un garçon. heureuse. pâle.			
(III) 第三形式 S+V+CO	Nous On	apprenons obéit		le français.		à la loi.

五 形 式 素	主 語 Sujet	動 詞 Verbe	主語の属詞 Attribut du sujet	直接目的 補語 Complément d'objet direct	間接目的 補語 Complément d'objet indirect	直接目的 補語の属詞 Attribut du complé- ment d'ob- jet direct
(IV) 第四形式 S+V+CO+CO	Henri Je	donne préfère		une fleur ce tableau	à Marie. à celui-là.	
(V) 第五形式 S+V+CO+A	J' Il On	ai fait laisse a été		mon fils la porte M.X.		avocat. ouverte. président.
要 素	I 型 II 型 III 型 IV 型 V 型	Subject 主 語 (単・複)	自動詞 (完全) ' (不完全)	主語の属詞 ナシ	ナシ	ナシ
表	他動詞 (完全) ' (完全) ' (不完全)		ナシ	直接補語 ナシ	間接補語 ナシ	ナシ
			ナシ	直接補語 ナシ	間接補語 ナシ	ナシ
			ナシ	直接補語 ナシ	間接補語 ナシ	ナシ
			ナシ	直接補語 ナシ	間接補語 ナシ	直接補語の 属詞

注意：

①・文 (la phrase) をその構成だけで分類すると五つのパターンになる。つまりどうしても必要な要素：主語 (S)、動詞 (V)、属詞 (A)、目的補語 (CO) の決まった並び方 (これを l'ordre des mots - 語順 という) によって文が組立てられている。

②・文の主人公である語を主語といい、名詞・代名詞がこの役をする。ほかに同じ働きの名詞節、名詞的に用いられた不定法もこれに含まれる。

③・属詞にも二種類ある。主語を説明しているものは、主語の属詞 (l'Attribut du sujet) といい、直接目的補語を説明しているものは、直接目的補語の属詞 (l'Attribut du complément d'objet [direct]) という。属詞には、名詞・名詞節・形容詞・代名詞・名詞的に用いられた不定法がある。

④・動詞の働きを受ける語を目的補語 (le Complément d'objet) または簡単に補語 (le Complément) という。

⑤・目的補語は、前置詞を必要としない、直接 (目的) 補語 (le Complément [d'objet] direct) と、前置詞でつなぐことが必要な間接 (目的) 補語 (le Complément [d'objet] indirect) とがある。普通は、前者は「何々、誰々を」にあたり、後者は「何々、誰々に」にあたる。ただし、日本語で「～に」にあたるものが、常に間接補語となるわけではないから注意しなければならない。例えば、日本語では「誰々に挨拶する」というが、これをフランス語でいうと、“saluer M.X.” (Xさんに挨拶する) と直接補語をとる。

⑥・目的補語になるものは、名詞・名詞節・代名詞・名詞的に用いられた不定法などである。

- ⑦・ 第一パターン (S+V) は「何々は 何々する」
- 第二パターン (S+V+A) は「何々は 何々である」
- 第三パターン (S+V+CO) は「何々は 何々を 何々する」
- 第四パターン (S+V+CO+CO) は「何々は 何々を 何々に 何々する」
- 第五パターン (S+V+CO+A) は「何々は 何々を 何々に (と) する」

というような意味のことを表わすのである。

⑧・動詞のことは、動詞の種類を表に説明してある。

⑨・形容詞 (附加形容詞として用いられた) や副詞、及びこれらに相当する節は、修飾語で、文になくてもならない要素ではないから、文の五つのパターンを考える時は一応省いておく。